

スノーボード

目次

1.	概要	・ ・ ・ ・ ・	2
2.	商品知識		
	2-1.各部名称	・ ・ ・ ・ ・	3
	2-2.スペック値	・ ・ ・ ・ ・	4
	2-3.種類	・ ・ ・ ・ ・	5-8
	2-4.主要ブランド	・ ・ ・ ・ ・	9
	2-5.ウェア	・ ・ ・ ・ ・	10
	2-6.主要ブランド(ウェア)	・ ・ ・ ・ ・	11

更新履歴

更新日付	更新内容	担当部署	担当者
2025/10/04	新規作成	マニュアル整備担当	T.Kanda
2026/03/09	更新	直営店舗運営部	Y.Inagaki, Y.Hasegawa

1. 概要

① 新品市場と中古需要

円安と原材料高により新品価格が高騰しており、レンタル料も値上がりしています。「レンタルを数回借りるより中古を買ったほうが経済的」という層に対し、リーズナブルなセット提案が有効です。

② インバウンド需要（Japow）

日本のパウダースノー（Japow）を求める外国人観光客が増加しています。レンタル代わりの現地調達需要があり、特に幅広のパウダーボードやバックカントリーモデルの需要が高まっています。

③ オフモールと販路

地域による需給ギャップを埋めるため、オフモール（ネット販売）を活用します。店頭では動きの鈍い上級者向けモデルや、特定のグラトリ（グラウンドトリック）向けモデルも全国相場で販売可能です。

④ 安全性の見極め

スノーボードにおいては、特にビンディングやブーツのプラスチックパーツの「加水分解（劣化）」の見極めが最重要です。

△ポイント

最低限のトレンド、知識の習得

スポーツ用品全般に言えることですが毎シーズンモデルチェンジがあるアイテムでもあるため、トレンドを捉えておくことが重要です。またオフモールによりニッチな仕様の高額モデルも戦力化できるようになりました。買い取りの際にお客様に信頼していただけるように最低限のトレンドや用語を知識として備えておくことが大切です。

安全性の見極め

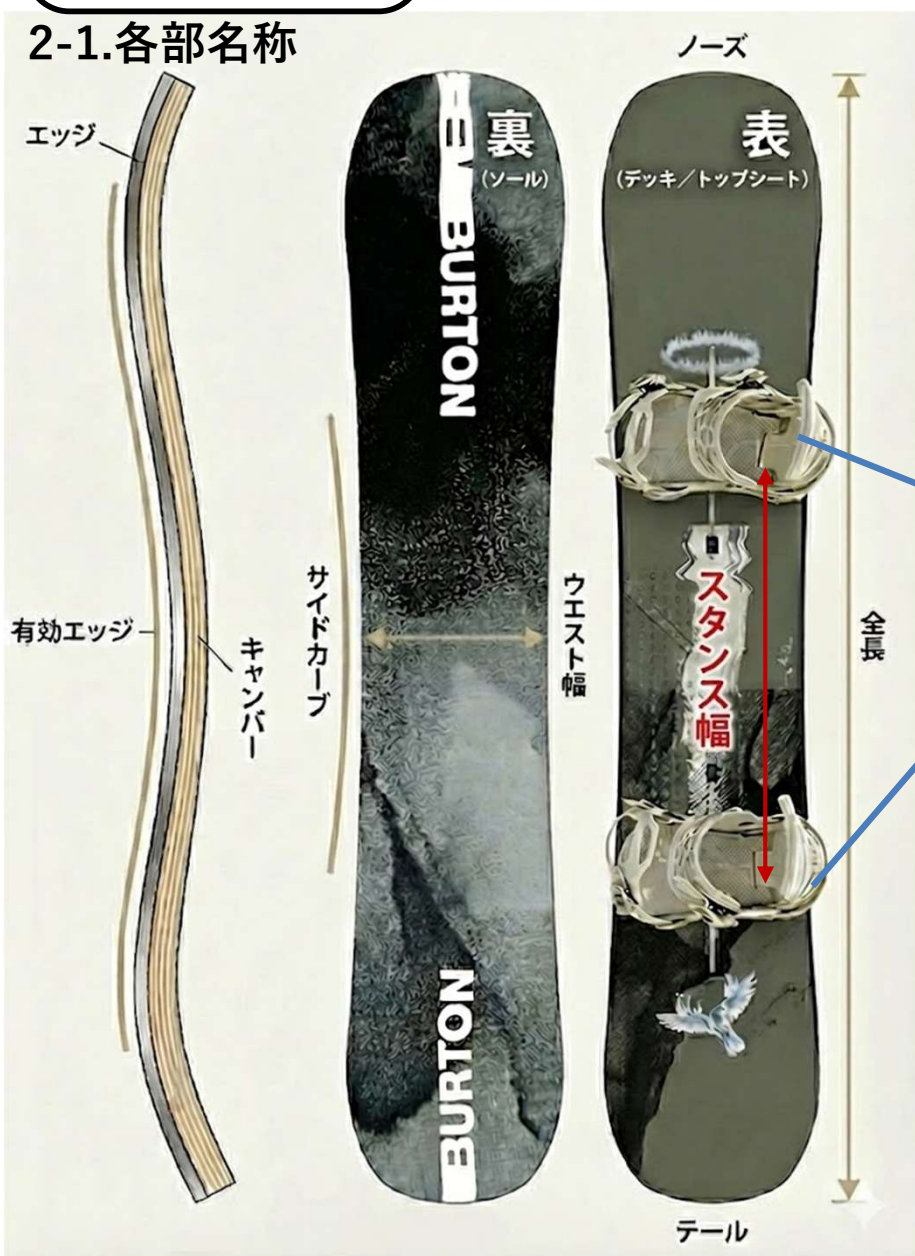
部品の劣化、特にビンディングやブーツのプラスチックパーツの（加水分解などの）劣化を見極める必要があります。**また、板のひび割れも必ず確認しましょう。**

季節商品として

買い取り訴求のチャンスはシーズンオフに入り目（3月から4月）と**シーズン前の（10月から11月）です**。売場展開のタイミングは地域や店舗規模によって変わりますが、それまで保管する期間やそのスペース確保も含めての戦術が必要です。年間のシーズンを通して計画することが重要な視点になります。

2. 商品知識

2-1.各部名称



バインディング(ストラップ型)



ブーツ(BOAタイプ) ※透過図

1. スノーボードの各部名称

- **ノーズ:** ボードの前方先端部分
- **テール:** ボードの後方先端部分
- **全長:** ボード全体の長さ
身長や滑りのスタイルに合わせて選びます。
- **ウェスト幅:** ボード中央の最も細い幅
切り返しの早さや安定感に影響します。
- **スタンス幅:** 左右のバインディングを取り付ける足幅の距離
- **デッキ/トップシート:**
バインディングを取り付けるボードの表面
- **ソール:** 雪面に接するボードの裏面 (滑走面)
- **サイドカーブ:** ボード側面の曲線。曲がりやすさ (ターン弧) に影響します。
- **キャンバー:** ボードを平らな場所に置いた際の、中心部分の浮き (反り)。
- **エッジ:** ボードの周囲を囲む金属部分。雪面に食い込ませてターンします。
- **有効エッジ:** ターンをした際に、実際に雪面に接するエッジの長さ。

2. バインディング (ピンディング) の各部名称 ※ストラップ型

- **ハイバック:**
ふくらはぎを支える背もたれ
かかと側への加重をボードに伝えます。
- **アンクルストラップ:**
足首を固定するメインのストラップ
ブーツをしっかりとホールドします。
- **トゥストラップ:** つま先側を固定するストラップ
- **ラチェット:** ストラップを締め上げたり緩めたりするための留め具 (バックル)
- **ヒールカップ:** かかとを収める湾曲した部分。ハイバックとベースプレートを繋ぎます。
- **ベースプレート:** ブーツの底が乗る土台部分。足の力をボードに伝える基礎となります。
- **ディスク:** バインディングをボードにネジで固定するための円盤状のパーツ。角度調整もここでを行います。

2-2.スペック値

用語 (意味)	記載場所・確認方法	特徴・目安 (接客・買取トーク)
全長 (Length) 板の長さ	テール / ノーズ ※一番大きく 記載されている数字 例) 151, 154	【長い】 高速で安定する。パウダーで浮く。 【短い】 操作しやすい。グラトリで回しやすい。 ※ 目安: 身長マイナス15cm前後 (顎～鼻の間)
ウエスト幅 (Waist) 板の一番細い幅	スペック記載部 ※書いてない場合は実測 例) 248W, 25.0	【重要】 ブーツサイズとの相性 ・ 25.0cm以下: 足の小さい人、女性向け。 ・ 25.5cm以上: 足の大きい人向け (ドラッグ防止)。 ※「W」や「Wide」の記載は幅広モデル
有効エッジ 雪に接する金属長	スペック記載部 ※Effective Edge 例) 1180, 1210	【長い】 グリップ力が強く、ズレにくい (カービング向き) 【短い】 引っかけにくく、回しやすい (グラトリ向き)
サイドカーブ (R) 曲がりやすさの半径	スペック記載部 ※Radius / Sidecut 例) 7.8m, 8.2m	【数値が小さい】 小回りが利く。ギョーンと曲がる。 【数値が大きい】 大きなターンが得意。直進安定性が高い。
フレックス 板の硬さ・しなり	記載なし	【硬い】 高速でもバタつかない。脚力が必要。(上級者) 【柔らかい】 少ない力で曲がる。プレス技がやりやすい。 (初心者・グラトリ)
トーション ねじれ剛性	記載なし	【強い】 エッジの食いつきが良い。 【弱い】 操作ミスを許してくれる (初心者におすすめ)。



DOUBLE FLY

151

ダブルフライ151

SPEC

Length : 151cm
Effective Edge : 118cm
Waist Wide : 24.7cm
Sidecut Radius : 8.50m
Stance : 49/53/57cm
Sole : Natural Sintered

TECH

HD HING
CONVEX

PREFORM
CORE

1 3 PLAT TWIN
TYPE CAMBER

△ポイント

トップに表記のある3桁「148」「151」などの数値はまず全長のことです。
最低限、全長をプライスに記入しましょう。
ウエスト幅 (Waist Wide)も記入するとさらに良いです。

2-3.種類・特徴（ボード）

滑走スタイルごとの板の特徴（長さなど）と新品市場シェア※参考 2025シーズン

種類 / シェア	特徴・スタイル	長さの目安 (身長比)	形状の特徴(見分け方)	主なターゲット
オールラウンド (フリースタイル) シェア: 50% 【買取判断：安定】 最も需要があり回転率が良い。状態が良ければ積極的に買取。	【基本】 滑る・跳ぶ・回るをバランスよくこなせる万能型。ゲレンデのあらゆる状況に対応。最も一般的で、在庫の核となる商材。	身長 -15cm ～ -20cm	【ツインチップ / ディレクショナルツイン】 ノーズとテールがほぼ同じ形。板の中央が浮いている（キャンバー）が多い。	初心者～中級者、ファミリー層
グラトリ・ジブ (パーク向け) シェア: 30% 【買取判断：強化】 011やRICE28などの国産ブランドは超高価買取対象。傷があっても売れやすい。	【高回転・トリック】 低速でのトリックやアイテム遊びに特化。日本独自のブームで若者に絶大な人気。指名買いが多く、即売れ傾向。	身長 -20cm (短め)	【ツインチップ & ソフトフレックス】 完全に前後対称。板を床に置いて真ん中を押すと、簡単にたわむ（非常に柔らかい）	若者、トリック重視の層 また、柔らかく扱いやすいので初心者にもおすすめ。
パウダー (オールマウンテン) シェア: 15% 【買取判断：高単価】 定価が高く、中古相場も崩れにくい。専門性が高いため高額査定が可能。	【トレンド・浮力】 新雪（パウダー）を浮遊するために設計。圧雪バーンでのカービングも楽しめるモデルが多い。インバウンド需要や大人の趣味層に人気。	身長 -5cm ～ +5cm (長め)	【ディレクショナル】 進行方向（ノーズ）が明らかに長く、太い。テールが割れている（スワローテール）や、スパツと切れている形状が多い。	上級者、インバウンド、バックカントリー層
アルペン (カービング) シェア: 5% 【買取判断：注意】 需要が限定的。年式が古すぎると値段が付かない。状態確認（特にキャンバーのヘタリ）が命。	【ニッチ・高速】 ハードブーツを使用し高速でのカービングターンに特化。競技志向が強く、一般のゲレンデでは少数派。	身長 +5cm ～ +10cm	【細身 & スクエアテール】 全体的に幅が細い。テールが真っ直ぐ平ら（四角い）。プラスチック製のハードブーツ用金具が付いていることが多い。	競技者、高速滑走マニア

△ポイント

カービング以外は、どのモデルも人気が高いです。昨今「パウダーボード」は特に人気が高いです。買い取りを逃さないようにしましょう。

2-3.種類・特徴(バインディング)

① ストラップ型 (2ストラップ)

最も一般的で、在庫の8割以上を占めるタイプです。

特徴: つま先（トゥ）と足首（アングル）

2本のベルトで固定します。

代表モデル:

BURTON / CARTEL

UNION / FORCE

FLUX / DS



② リアエントリー / ステップイン

「着脱の速さ」を売りにしたタイプです。近年人気が再燃しています。

A. リアエントリー型（ハイバックが倒れる）

代表モデル:

NIDECKER / FLOW FENIX

SP UNITED / CORE

特徴: ハイバック（背もたれ）を後ろに倒して、スリッパのように足を入れます。



B. 新ステップイン (金具を踏むだけ)**BURTON / Step On (ステップオン)**

特徴: ストラップがなくブーツを金具に踏み込むだけで固定されます。

注意: 専用のブーツが必要 セット販売も検討

**△ポイント**

バインディングは製造から10年が寿命の目安と言われています（プラスチックの寿命）。必ず「ストラップを曲げる」「ラチェットを動かす」確認を行ってください。

ベルトが合皮で出来ているモデルも非常に劣化が進みやすいので必ず確認しましょう。

ボード本体で売価2万円以上になるものはバインディングを別で販売することをおすすめします。売価2万円以上のモデルになると新品購入時にボードとバインディングを別で購入しているものが多く、バインディング単体でも中古品としての需要は高いため販売可能になるからです。買い取り査定の時点でそれぞれ分けて査定するようにしましょう。

2-3.種類・特徴(ブーツ)

① BOA (ボア) タイプ

ダイヤル式【現在の主流】

ダイヤルを回すだけでワイヤーが締まる。
力が弱い女性や初心者に圧倒的人気。

※買取時の動作確認が必須

推定シェア：約60-70%



② クイックレース

引っ張り式【定番・実力派】

両サイドの取っ手を引っ張り上げる
だけで締まる。引いた紐をサイドの
ポケットに巻いて入れるだけ。
紐のフィット感と手軽さを両立。

推定シェア：約20-25%



③ 紐 (シューレース)

手で結ぶ【玄人好み】

スニーカーのように紐を結ぶ。最も壊れ
にくく、締め具合を細かく調整できる。

古いブーツは、このタイプが多い。

初心者には手間がかかるため敬遠されがち

推定シェア：約5-10%



④ ハードブーツ

プラスチック製【ニッチ】

スキーブーツのような硬いプラスチック製。

アルペンボード専用

※通常のボードには付きません

推定シェア：1-3%

△ポイント

表面を触り加水分解（剥がれ・ベタつき）がないか？

BOAや紐のロック機能が正常か実際に動かして確認、

ソールの剥がれとインナーブーツも取り外して臭い・カビ等状態を確認。

2-4.主要ブランド

△ポイント 主要なブランドは把握しておきましょう。

スノーボード 総合ブランド			
	BURTON バートン	アメリカ	スノボ界の絶対王者。初心者からプロまで圧倒的なシェアと人気を誇る。※独自のレールシステム（The Channel）の板は専用バインディングが必要なため注意。
	SALOMON サロモン	フランス	スキー同様、操作性と安定性に定評あり。初心者向けモデルも多く流通量が多い。「Assasin」や「Villain」などのモデルが人気。
	K2 SNOWBOARDING ケーター	アメリカ	老舗ブランド。低価格帯から高性能モデルまでラインナップが豊富。耐久性が高く、エントリー層にも勧めやすい。
	RIDE ライド	アメリカ	ストリートやパーク（ジャンプ等）を好む若年層に人気。「PIG」シリーズなど、特徴的な形状の板は指名買いが入ることも。
	LIB TECH リブテック	アメリカ	波打つエッジ（マグネトラクション）が最大の特徴。パウダーや氷バーンに強い。グラフィックが派手でアート性が高く、コアなファンが多い。
	CAPiTA キャピタ	オーストリア	今、最も勢いのあるブランドの一つ。個性的でクールなデザインが特徴。人気モデル「DOA」はリユース市場でも高値が付きやすい。
	YONEX ヨネックス	日本	「世界一軽い」と言われるカーボン技術が売り。木材を使わないためへたりにくい。高品質な国産ボードとして、中上級者に絶大な信頼がある。
	011 Artistic ゼロワンワン	日本	「グラトリ（平地でのトリック）」専用機のパイオニア。日本独自ブランドで、中古市場でも非常に高値で取引される人気ブランド。
	OGASAKA オガサカ	日本	スキー同様、メイドインジャパンの最高峰。「カービング（滑走）」性能が抜群。基礎スキーヤーならぬ「基礎スノーボーダー」に大人気。
	FNTC エフエヌティーシー	日本企画	グラトリブームを牽引する人気ブランド。「TNTR」などのモデルは、柔らかく扱いやすいため若者に爆発的人気がある。
バインディング・ブーツ特化ブランド			
	UNION ユニオン	アメリカ	バインディング専門の最大手。軽くて丈夫。どんな板にも合わせやすいため、バインディング単体での買取需要も非常に高い。
	FLUX フラックス	日本	日本人の足に合わせた設計で、国内シェアNo.1を争うバインディングメーカー。壊れにくくパーツも豊富なため、中古でも安心感がある。
	DEELUXE ディーラックス	オーストリア	ブーツ専門ブランド 熱成形で足型に合わせる「サーモインナー」が有名。成形済みかどうかでフィット感が変わるため確認推奨。
	thirtytwo (32) サーティーツー	アメリカ	スケートボードスタイルのブーツブランド。紐（シューレース）タイプが多く、軽量で柔らかいためパーク好きに人気。

2-5.ウェア



ポイント

1. パウダーガード

アウトドアブランド（ノースフェイス等）の場合、街着かスノボ用か迷うことがあります。内側の腰部分にパウダーガード（雪の侵入を防ぐスカート状の布）が付いていれば「スノボ／スキーウェア」として分類してOK

2. GORE-TEX（ゴアテックス）は高評価

ブランドを問わず、素材にGORE-TEX（黒いひし形のタグ）が使われているウェアは「防水・透湿」性能が高く、高価買取・高額販売の対象になります。

3. 上下セットより「単品」が主流

近年はブランドや色をあえてバラバラにする着こなしが主流。「セットじゃないと売れない」ということはありませんので、サイズ別・アイテム別（ジャケット／パンツ）に見やすく陳列するのがおすすめです。ストリート系のオーバーサイズ目の着こなしもスノーボーダーには人気です。

2-6.ウェア 主要ブランド

△ポイント 主要なブランドは把握しておきましょう。

スノーボードウェア			
	BURTON バートン	アメリカ	ウェアでもシェアNo.1。 最高級ライン[ak]（エーケー）はGORE-TEXを使用しており、中古でも非常に高値が付くため要チェック。
	VOLCOM ボルコム	アメリカ	サーフ・スケート・スノボの3Sカルチャーを象徴するブランド。「ストーン（石）」のロゴが目印。ジャケットとパンツをチャックで繋げる機能（Zip Tech）が有名。
	686 シックスエイト シックス	アメリカ	リユース店での流通量が非常に多い定番。 多機能でポケットなどが多く、デザインのバリエーションが豊富。初心者から上級者まで売れる鉄板ブランド。
	ダブルエー ハードウェア	日本	国内人気No.1のドメスティックブランド。 普段着のようなデザインが特徴。グラトリ（トリック）をする若年層に圧倒的な人気があり、指名買いが多い。
	VESP ベスプ	日本企画	スノーボーダーの「足元（パンツ）」に特化したブランドから成長。チノパンやスウェットのようなシルエットが特徴で、スタイル重視の層に人気。
	AIRBLASTER エアブラスター	アメリカ	「バカなことをして楽しもう」がコンセプトの個性派。つなぎタイプのウェアや、独特なカラーリングが特徴。コアなファンが多い。
	ROXY ロキシー	アメリカ	レディース専門の最大手ブランド。 可愛いデザインと手頃な価格で女性初心者のシェアが高い。流通量が多いので状態の良し悪しが査定のポイント。
	THE NORTH FACE ザ・ノース・フェイス	アメリカ	リユース市場の鉄板。 「RTG」や「Steep Series」など雪山専用モデルは特に高価買取対象。街着のナイロンジャケットと混同しないよう注意。
	Patagonia パタゴニア	アメリカ	環境配慮と高機能で、バックカントリー（雪山登山）層に人気。「パウダーボウル」シリーズなどが定番。古いモデルでも価値が落ちにくい。
	ARC'TERYX アークテリクス	カナダ	ウェア界のハイエンド（最高級）。 始祖鳥のロゴが目印。新品定価が非常に高いため、中古の需要が激高。シェル（薄手）ジャケットが主力。
	mont-bell モンベル	日本	コスパ最強の国産ブランド。 日本人の体型に合いやすいため、エントリー層や学生など実用重視のお客様によく売れる。

スキー

目次

1.	概要	．．．．．	2
2.	商品知識		
	2-1.アルペンとノルディック	．．．．．	3
	2-2.各部名称	．．．．．	4
	2-3.スペック値	．．．．．	5
	2-4.用品	．．．．．	6
	2-5.種類	．．．．．	7
	2-6.主要ブランド	．．．．．	8-9
3.	買い取り		
	3-1.買い取り 確認フロー	．．．．．	10
	3-2.状態確認	．．．．．	11

更新履歴			
更新日付	更新内容	担当部署	担当者
2025/10/04	新規作成	マニュアル整備担当	T.Kanda

1. 概要

①新品市場

円安と原材料高により、新品セットの価格がファミリー層やライトユーザーの手が届かないレベルに上昇しています。それに伴いレンタル料も高騰しており、レンタルを2～3回するなら中古を買ったほうが安い（元が取れる）という経済合理性も働いている状況。

②地域格差

トップシーズン（12月～1月）の売上構成比は直営全店では7.8%、北海道・東北エリアで21.6%、北海道だけに絞れば40%近く取ることができるジャンルです。特にスキー授業がある地域では、成長ですぐサイズアウトするジュニア用品（板・ブーツ）の回転率が非常に高く、依然大きく業績に寄与しています。また一部店舗ではSBB認定整備技術者が在籍し、有料でのビンディング調整を行うことで安全性にも対応しています。

③オフモールによる販路拡大と付加価値向上

非降雪地帯の店舗でも地域の愛好者の方から、需給ギャップを越えて全国相場を基準にした高付加価値での買い取りが可能になりました。店頭では動きの鈍い上級者モデルも、オフモールによる全国販路によって滞留させることなく販売可能となりました。

④インバウンド需要

日本のパウダースノー（Japow）を求める外国人観光客が、レンタル代わりの安価な現地調達としてオフハウスを利用するケースが増えています。ただし海外では「オールマウンテン」モデルが通常モデル、「バックカントリー」は日常のレジャーとも言われています。センター幅の広いパウダーモデルを揃えることで需要を捉えることが出来ます。

⑤ほか

90年代ウェアなど特有のネオンカラーやシルエットが、若者には「新鮮でエモい」、外国人には「クールなJAPANカルチャー」としてSNS映えアイテムへ変化し、新たな価値を生んでいます。

🌀ポイント

最低限のトレンド、知識の習得

スポーツ用品全般に言えることですが毎シーズンモデルチェンジがあるアイテムでもあるため、トレンドを捉えておくことが重要です。またオフモールによりニッチな仕様の高額モデルも戦力化できるようになりました。買い取りの際にお客様に信頼していただけるように最低限のトレンドや用語を知識として備えておくことが大切です。

安全性の見極め

部品の劣化、特にビンディングやブーツのプラスチックパーツの（加水分解などの）劣化を見極めることが必要です。

季節商品として

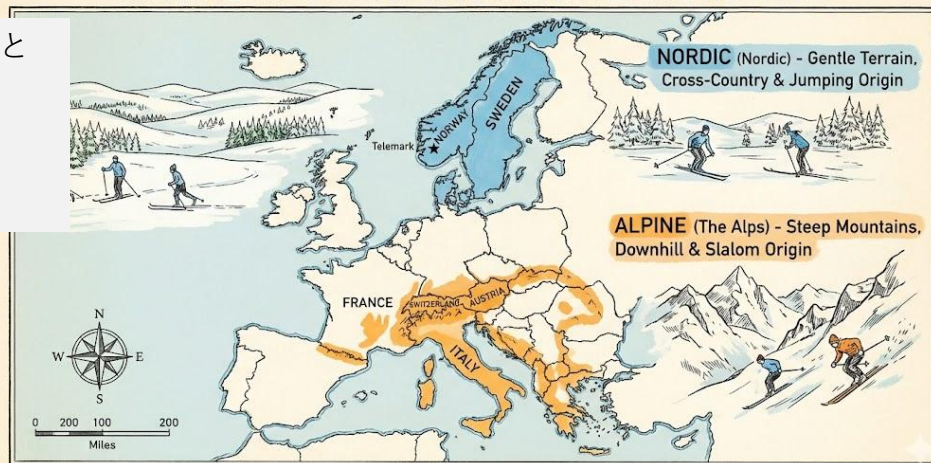
買い取り訴求のチャンスはシーズンオフに入り目（3月から4月）です。売場展開のタイミングは地域や店舗規模によって変わりますが、それまで保管する期間やそのスペース確保も含めての戦術が必要です。年間のシーズンを通して計画することが重要な視点になります。

2. 商品知識

2-1. アルペンとノルディック

スキーは、主に滑走スタイルと用具の違いから、大きくアルペンスキーとノルディックスキーの2つに分類されます。

ORIGINS OF SKIING: NORDIC & ALPINE REGIONS



アルペンスキー

ヨーロッパのアルプス山脈で発達し、急斜面を滑降することに特化したスタイル。スキーブーツのかかとはビンディングでスキー板に完全に固定されます（ヒールロック）。滑降によるスピード感と、斜面に設置された旗門を正確に通過するターン技術が重視されます。フリースタイルスキー（モーグル、スキークロス、ハーフパイプなど）も属する。



ノルディックスキー

スウェーデンやノルウェーなど北欧で発展しました。雪上を歩く、走る、飛ぶなど、距離を移動することに特化したスタイル。スキーブーツのかかとはビンディングに固定されず、自由に浮かせることができます（ヒールフリー）。これにより、歩行や登坂、ジャンプなどの機動的な動きが可能です。長距離を移動するための持久力と技術力、または飛距離や美しさが重視されます。クロスカントリー、ジャンプ、これを合わせたノルディック複合、クロスカントリーとライフル射撃を合わせたバイアスロンなどがあります。



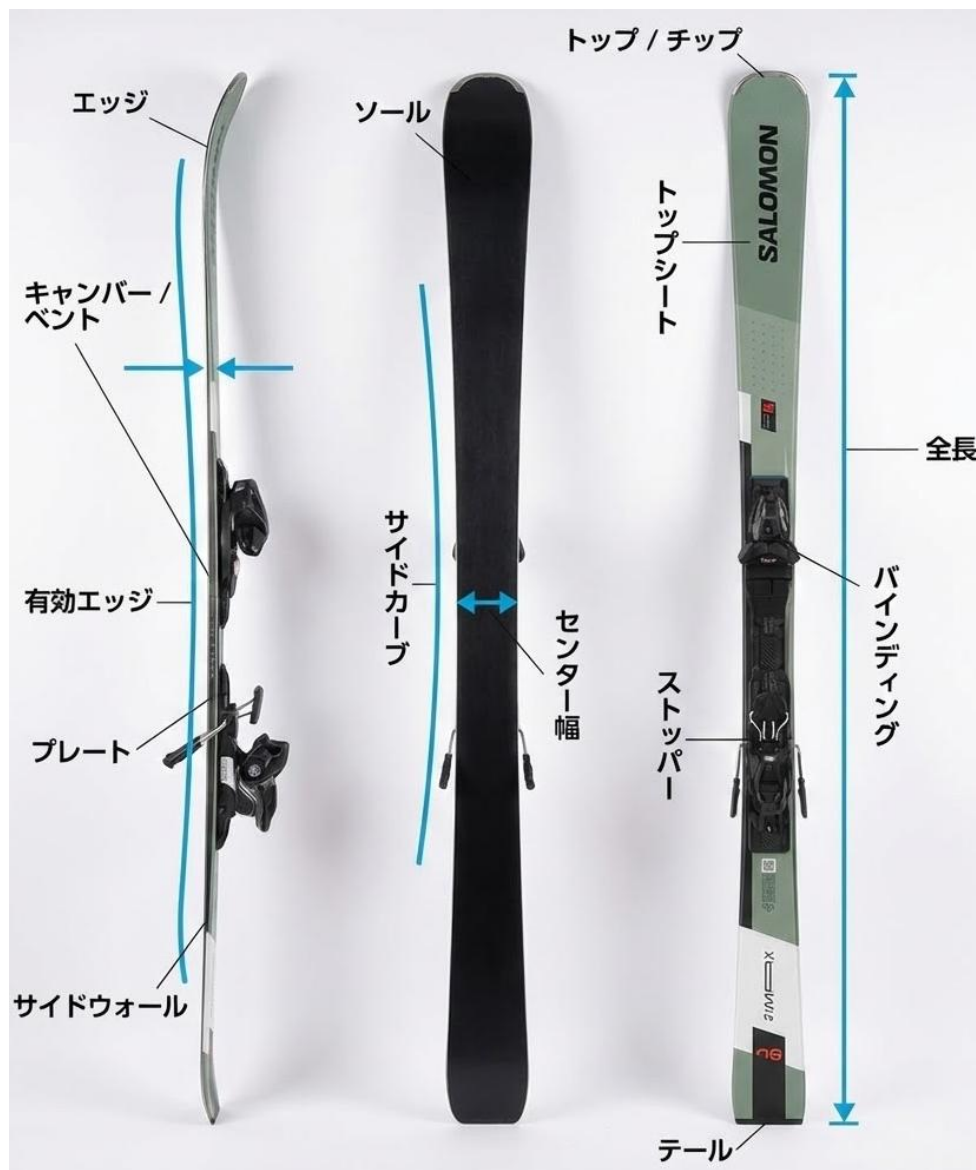
ポイント

主にオフハウスでの主力はレジャースキーとして需要の高いアルペンスキーです。

ノルディックスキー（クロスカントリー、ジャンプ）は競技人口の多い地域以外での需要はあまり見込めません。

本資料はアルペンスキーを扱います。

2-2.各部名称 スキー板・ビンディング



1. スキー板の各部名称

・トップ / ノーズ (Top / Nose)

板の先端部分。ターンの始まり（導入）で雪面を捉える役割をします。少し反り返っていることで、雪に刺さらずスムーズに進みます。

・センター幅

一番幅が狭くくびれている部分。ターンをする時の「回転半径」を決めます。ここが細いと素早いターンが得意で、太いと新雪などで浮きやすくなります。ファット

・テール

板の一番下の後端部分。ターンの終わり（抜け）に関係します。この板のように平らな形状は、最後までしっかり雪を噛んで加速させるのに向いています。

・滑走面 / ソール (Base / Sole)

雪の上を滑るための面です。ここにワックスを塗ることで滑りが良くなります。

・エッジ (Edge)

滑走面の両脇にある金属のフチ。氷や硬い雪に食い込み、転倒を防いだりターンを安定させたりします。特に有効エッジ範囲の状態はチェック。サビは落とせますがキズ、めくれは大きく減額、または買い取り不可。

・キャンバー (Camber)

板の中央が少し浮き上がってアーチ状になっています。人が乗って踏み込むと平らになり、その反発力（バネのような力）で次のターンへの推進力を生み出します。

2. ビンディングの各部名称

板とブーツを固定するための器具の名称。バインディングとも。

・トゥピース (Toe Piece)

上側（つま先側）にあるパーツ。ブーツのつま先を固定します。転倒して強い力が加わると外れて怪我を防ぐ機能があります。

・ヒールピース (Heel Piece)

下側（かかと側）にある黒いパーツ。ブーツのかかとを固定します。履くときはここを踏み込みます。

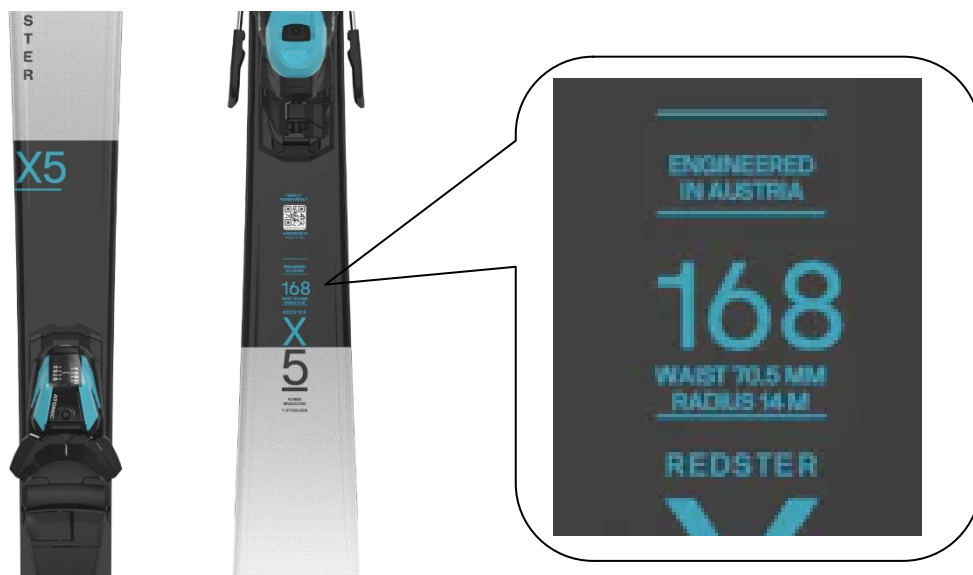
・ストッパー / ブレーキ (Stopper / Brake)

ヒールピースの脇から飛び出している棒状のパーツ。ブーツを履いている時は収納されますが、板が外れると飛び出し、雪面に刺さって板が勝手に滑り落ちていくのを防ぎます。

2-3.スペック値

スペック値とその特徴

用語（意味）	記載場所	特徴・目安
全長 (板の長さ)	テール or トップ ※一番大きな数字	長い：安定する。スピードに強い 短い：操作しやすい。小回りが楽
スリーサイズ	テール or 足元	差が大きい：くびれが深く、ターンしやすい
センター幅 (足元の幅)	スリーサイズの真ん中 (WAIST)	～80mm：整地・コブ（キレ重視） 85～100mm：万能（悪雪もOK） 100mm～：パウダー（浮力重視）
ラディウス (R) (回転半径・回りやすさ)	テール or 足元 ※「R15」等の表記	～14m：小回り・グルグル回る 15～19m：中回り・オールラウンド 20m～：大回り・直進安定
フレックス (板の硬さ)	書いていない ※カタログ等で確認	硬い：高速向け・脚力のある人 柔らかい：低速向け・初心者・軽い人
トーション (ねじれ強度)	書いていない ※カタログ等で確認	強い：氷でもエッジがグリップする 弱い：操作ミスを許してくれる



ポイント ※全長、センター幅(スリーサイズ)、ラディウスはプライスに記入

①テール（板の後ろ部分）の表面を見る

9割以上の板はここに情報が集約されています。

小さな文字で 165 R13 122-68-104 のように一行で記載されていることもあります。

②ビンディング（金具）の横や板の側面を見る

テールにない場合、デザインの一部として足元付近や、板の厚みの部分（サイドウォール）に記載されていることがあります。

③フレックス（硬さ）トーション（ねじれ強度）は書いていない

硬さは数値化の統一基準がないため、板本体には記載されません。

「上級モデル＝硬い」「初心者モデル＝柔らかい」などのカタログ上の記載で判断します。

2-4. スキー用品

スキーブーツ、ストック（ポール）、ウェア など



ポイント

各部名称は覚えなくても大丈夫です。ブーツはインナーやインソールが外せます。状態の確認や生産時には外して行うことだけ覚えておきましょう。

ウェアやゴーグル、グローブ、ヘルメットの他にも板やブーツのケースも必要があります。

ウェアは画像のようなアウトドアブランドが人気です。中綿なしの「シェル」タイプが主流で重ね着で調整します。高スペックながら、日常使いできるシンプルなデザインで、流行に左右されず長年使用できます。→後述ブランド表参照

2-5.種類

滑走スタイルごとの板の特徴（長さ 幅など）と新品市場のシェア（※参考 2025シーズン）

ATOMIC社製モデルで比較 ※種類の呼称はメーカー、ショップによって違います 例) 競技用≡デモ、レースなど

種類 呼称 シェア	スタイル	ATOMICの主要シリーズ	長さの目安 (身長比)	センター幅の目安 (mm)	主な特徴と適している人
競技用 レーシング 選手用(FIS) 5%	高速安定性と正確なエッジグリップ。	REDSTER SG FIS	身長+15cm	65～68	ワールドカップで勝つためのテクニックをターンに加えたいジュニアFISレーサーのためのスーパーGスキー。
					
オールラウンド 基礎スキー デモ カービング クルージング コンフォート 50-55%	オンピステ（圧雪されたゲレンデ）での正確で気持ちの良いターン。	REDSTER X (レッドスター X)	身長-15cm	70～75	汎用性の高い整地モデル。小回り・大回り両方の要素を持ち、多くのレジャースキーヤーや基礎スキーヤーに選ばれます。
					
オールマウンテン 全地形対応 20%	ゲレンデの整地、非圧雪、コブなど、多様な雪質に対応。	MAVERICK (マベリック)	身長+5cm	85～100	汎用性と安定性のバランスが良いモデル。ゲレンデ全体を1本の板で楽しみたいスキーヤー向け。
					
バックカントリー ツアー（山スキー） アルペンツーリング 10-15%	雪山を登り自然のままの雪面を滑降。	BACKLAND (バックランド)	身長+10cm	80～100	非常に軽量化されており、登坂（ハイクアップ）性能を最優先。ツアーに必要な強度と滑走性を両立させています。
					
フリースタイル パーク&パイプ ジブ グラトリ 5-10%	パーク（キッカー、レール）、パイプ、グラウンドトリックなど、トリックを重視した滑り。	BENT 85 / 90 (ベント)	身長+10cm	85～95	軽快な操作性とツインチップ構造。スイッチ滑走やトリックを追求したいスキーヤー向け。
					

ポイント

日本市場は販売構成比では依然、基礎スキーと呼ばれるオールラウンドが過半数を占めています。1台でパウダーも滑れるオールマウンテンや、登りに対応できるバックカントリーなども愛好家が増えており、若年層に人気のフリースタイルなど楽しみ方は多様化。

センター幅が広い、テールが丸いなどのトレンドは押さえておきましょう

2-6.主要ブランド

 **ポイント** 主要なブランドは把握しておきましょう

【スキー板・総合メーカーの一例】			
ROSSIGNOL 	ROSSIGNOL ロシニョール	フランス	レース、モーグル、フリースタイルまで幅広く展開する老舗。板・ブーツ・ポールも製造。
 ATOMIC	ATOMIC アトミック	オーストリア	競技スキーで実績多数。板、ブーツ、ビンディングなど、最先端技術を導入した製品を展開。
SALOMON	SALOMON サロモン	フランス	板、ブーツ、ビンディングのトータル展開を確立。操作性と安定性に優れる。
 HEAD	HEAD ヘッド	アメリカ/ オーストリア	競技シーンでの高いシェアを誇る。特に高速での安定性に定評がある。
 Völkl	VOLKL フォルクル	ドイツ	軽量ながら高性能。フリーライドスキーヤーに特に人気が高い。
 K2	K2 ケーツー	アメリカ	フリーライドやフリースタイルに強く、ファットスキーのパイオニア的存在。
FISCHER 	FISCHER フィッシャー	オーストリア	ノルディックやジャンプでも有名。高い品質と耐久性を持つ。
 DYNASTAR	DYNASTAR ディナスター	フランス	アルペンスキー専門メーカー。マウンテンスキーやフリーライド分野で評価が高い。
 OGASAKA SKI	OGASAKA オガサカ	日本	メイドインジャパンの高品質。日本の基礎スキーヤーに絶大な人気。
 BLIZZARD	BLIZZARD ブリザード	オーストリア	テクニカルなカービングスキーや、安定性の高いフリーライドモデルに定評がある。
 NORDICA	NORDICA ノルディカ	イタリア	ブーツ開発に強みを持つ。スキー板も競技系やハイエンドモデルが充実。
 elan TM	ELAN エラン	スロベニア	左右非対称構造など革新的な技術を導入。スキー板の軽量化に注力している。
【ブーツ・ポール特化メーカー】			
LANGE	LANGE ラング	イタリア	スキーブーツ専門の老舗。特に競技用ブーツで絶大な信頼と実績を持つ。
 TECNICA	TECNICA テクニカ	イタリア	スキーブーツを中心に製造。快適性とパフォーマンスを両立させたモデルが多い。
REXXAM	REXXAM レクザム	日本	日本人の足型に合わせた高品質なスキーブーツを製造。基礎スキーヤーに信頼が厚い。
LEKI	LEKI レキ	ドイツ	スキーポール（ストック）のトップブランド。独自の脱着システム「トリガーS」が有名。
 SINANO	SINANO シナノ	日本	日本のポール専門メーカー。日本人の体型に合わせた、軽量で使いやすいポールを提供。

【ビンディング特化メーカー】

	MARKER マーカー	ドイツ	創業以来、ビンディング技術の革新をリード。特にフリーライドやツアービンディングで高い評価を得ている
	LOOK ルック	フランス	伝統的なフランスのビンディングブランド。独自の「ピボット（Pivot）」トーピースは、優れたホールド性と信頼性の高いリリースで競技者から絶大な支持を得ている
	TYROLIA チロリア	オーストリア	FISCHERやHEADなどのスキー板メーカーにOEM供給されることが多いビンディングブランド。一般から競技まで幅広い製品ラインナップを持つ。

【ウェアメーカー】

① 日本国内の主要ブランド

DESCENTE デサント	日本	シェアNo.1クラス。機能美を追求し、技術選やデモスキーヤーに圧倒的人気。
Phenix フェニックス	日本	長年日本代表ウェアを手掛けた名門。高品質でコストパフォーマンスが良い。
GOLDWIN ゴールドウィン	日本	シンプルで洗練されたデザイン。スキーだけでなくアウトドア全般に強い。
MIZUNO ミズノ	日本	発熱素材「プレスサーモ」が有名。競技用ウェアとしても評価が高い。
ONYONE オンヨネ	日本	質実剛健な作りで、インストラクターやスクールユニフォームに多く採用される。
mont-bell モンベル	日本	圧倒的コスパ。山岳ウェアの技術を応用し、安価で高性能。初心者にも最適。

② 海外の主要ブランド（ヨーロッパ・北米）

SALOMON サロモン	フランス	スキー板やブーツも有名。トータルコーディネートしやすく、スポーティなデザイン。
SPYDER スパイダー	アメリカ	クモの巣のロゴが特徴。アメリカナショナルチームも採用する競技志向のブランド。
MILLET ミレー	フランス	登山ブランド発祥。細身のシルエットが多く、動きやすさと保温性に優れる。
MAMMUT マムート	スイス	マンモスロゴが有名。山岳ガイドも愛用する高機能・高耐久ウェア。
Helly Hansen ヘリーハンセン	ノルウェー	防水技術に定評あり。北欧らしいシンプルでおしゃれなデザインで若者に人気。
ICEPEAK アイスピーク	フィンランド	北欧発のカジュアルブランド。デザインが可愛く、価格も手頃で女性に人気。

③ バックカントリー・フリーライド系

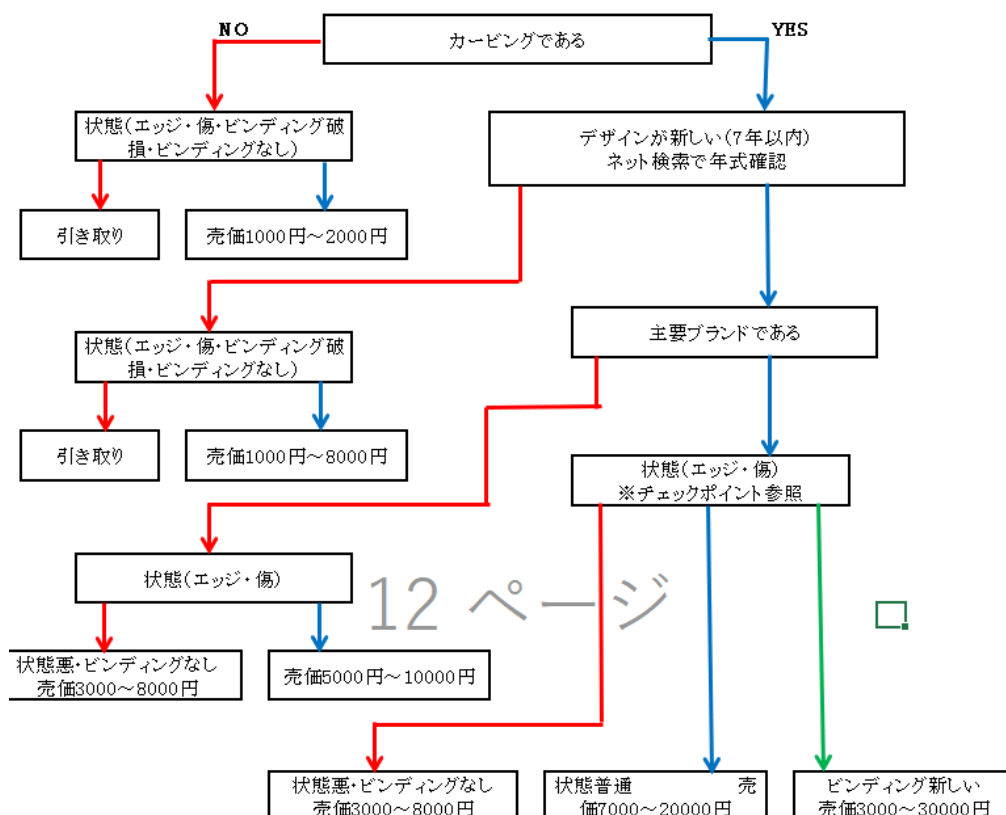
The North Face ノースフェイス	アメリカ	圧倒的知名度。街着としても使えるデザインで、スノーボードとの兼用も多い。
Arc'teryx アークテリクス	カナダ	最高峰の機能美。非常に高価だが、耐久性と立体裁断の動きやすさは別格。
Patagonia パタゴニア	アメリカ	環境配慮素材を使用。シンプルで長く使えるデザイン。愛好家が多い。
Peak Performance ピークパフォーマンス	スウェーデン	独特の色使いとルーズすぎないシルエットで、大人のフリーライアーに人気。
Norrøna ノローナ	ノルウェー	北欧最高峰のアウトドアブランド。カラフルな色使いと極めて高い機能性。
Teton Bros. ティートンブロス	日本	日本発のバックカントリーブランド。日本の湿潤な気候に合う新素材を積極採用。

④ 高級・ラグジュアリー系

MONCLER モンクレール	フランス/イタリア	ダウンの最高峰。「グルノーブル」ラインは本格スキー仕様。非常に高価。
BOGNER ボグナー	ドイツ	「スキーウェアのディオール」とも呼ばれるラグジュアリーブランド。
KJUS チュース	スイス	元五輪選手が設立。人間工学に基づいた伸縮性と高級感ある着心地が特徴。
Fusalp フサルプ	フランス	細身でエレガントなシルエット。レトロフューチャーなデザインが特徴。

3. 買い取り

3-1. 確認フロー 年式(流行)→状態(キズ破損)→ブランドなど



ポイント

現在のスキー板の主流は**カービングスキー**（板に大きなカーブがある）です。
ストレートスキー（古い板でほとんどカーブがない）は非常に需要が低くなっています。

買取不可

- ・製造から10年以上経過した板やブーツ
- ・ビンディングに割れや動作不良がある
- ・ブーツのプラスチック部分にヒビ割れや加水分解（白い粉を吹くような劣化）が見られる
- ・エッジが板の心材まで達するような深い欠けや、広範囲のサビがある。

3-2.状態確認 スキー板・ビンディング



チェックポイント

- ① 板の表面・先端部
- ② ビンディング
- ③ 板の滑走面(裏面)・エッジ

①



表面・先端部
板の先端や表面の傷・割れ・かけなどを見ます。表面の傷は使用頻度、割れやかけは大幅に減額となります。

②



ビンディング

ビンディングは足と板をつなぐ大変重要なものです。ヒールピースやストッパー部が確実に動作するか、パーツ破損、パーツや各ネジが欠品がないか、錆びていないかなどをチェックします。



各ネジ類・金属部分
取り付け部分など色々なところにネジが付いています。1個でもないと大変です。また錆びがあると動作しない、破損の恐れがあります。



ヒールピース・ストッパー
ブーツを固定する部分になります。確実に動作するかチェックしてください。割れや動作しない場合は買取が出来ません。

③



板 滑走面(裏面)
裏面は雪に直接触れる部分のため、小石や枝などに触れ傷がつく場合があります。傷が深かったり、大きい傷の場合、減額対象となります。



エッジ

ターンや止まるときに使う部分です。錆がひどい場合はメンテナンスが必要になります。



3-2.状態確認 ブーツ・ポール

□ 状態の確認

※プラスチック樹脂素材であるため、経年劣化に注意します。プラスチック劣化の場合は、「白く」なります



- ・アウターシェルに破損のない状態
- ・シェルの内側は転倒時よく反対側のブーツやスキー板に接触する部分のためキズやスレが目立ちます。こちらもよく確認し、破損のないことを確認します。
- ・全体を確認しますが、中でもソール部分は、負荷が大きくかかる箇所であり、さらに素材がプラスチックのため、通常歩行中に大きく破損やキズが付きやすくなります。ソールの確認は念入りに行う。



- ・バックルにサビや破損のないものできちんと動作するもの（下からはめていく）
- ・バックルがプラスチックのものは1番の破損原因箇所となりますので状態確認と2.3回脱着し動作の確認をおこなう。
- ・バックルの長さを調節する部分の腐食は破損に繋がりのやすいので注意。



- ・インナーは脱着できるものが多いですが、中には固定式のものを見かけます。脱着できる場合は極力はずして状態の確認を行ってください。出来ない場合はバックルをはずし全開出来る状態で目視で確認。布切れ・スレ・インナー自体の破損を出来る限りおこなってください。

※インナーのはずし方・もどし方はスノボブーツとはほぼ同様です。ボードブーツ参照

- ・全体的な状態の確認（汚れ・塗装剥がれ・グリップの劣化）
- ・2本を比べて片側のみ曲がっていないか？モデルにより初めからカーブしているものあり
- ・ストラップの汚れ・切れはないか？
- ・カーボン素材は破損部はササクレしています。アルミ素材は下記のようなキズから割れる
- ・リング部の状態 破損や変形の確認

